

悲しい酒

作詩 石本美由起
作曲 古賀政男

ひとり酒場で 飲む酒は
別れ涙の 味がする
飲んで棄てたい 面影が
飲めばグラスに また浮かぶ

(台詞)

ああ別れたあとの心残りよ
未練なのね あの人
の面影
淋しさを 忘れるために
飲んで
いるのに 酒は今夜も
私を悲しくさせるの 酒よ
どうして
どうして あの人を
あきらめたらいいの
あきらめたらいいの

酒よ
ところが あるならば
胸の悩みを 消してくれ
酔えば悲しく なる酒を
飲んで泣くのも 恋のため

一人ぽっちが 好きだよと
言った心の 裏で泣く
好きで添えない 人の世を
泣いて怨んで 夜が更ける



悲しい酒

作詩石本美由起
作曲古賀政男

□□□■

1

ひとり酒場で 飲む酒は
別れ涙の 味がする
飲んで棄てたい 面影が
飲めばグラスに
また浮かぶ

悲しい酒

（台詞）

ああ別れたあとの心残り
よ 未練なのね

あの人の面影

淋しさを 忘れるために
飲んでいるのに

酒は今夜も

私を悲しくさせるの酒よ
どうしてどうして

あの人を

あきらめたらいいの
あきらめたらいいの

悲しい酒

作詩石本美由起
作曲古賀政男

2

酒よこころが
あるならば
胸の悩みを
消してくれ
酔えば悲しく
なる酒を
飲んで泣くのも
恋のため

悲しい酒

作詩石本美由起
作曲古賀政男



3

一人ぼっちが

好きだよと

言った心の

裏で泣く

好きで添えない

人の世を

泣いて怨んで

夜が更ける

4 / 4

END